

《 教育理念 》センター理念、中央病院理念および、看護部理念に基づき、患者・家族を尊重した質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する。

段階別

対象	2段階 : ラダーB			3段階 : ラダーC		ラダーB・C
	基礎研修Ⅱ-1①	基礎研修Ⅱ-1②	基礎研修Ⅱ-2			
研修日時	H30年 6月 27日(水) 14:00~16:00	H30年 8月22 日(水) 14:00~16:00	H30年10 月10 日(水) 14:00~16:00	H30年6 月21日(木) 14:00~16:00	H30年10 月25日(木) 13:30~16:00	H31年 1月 23日(水) 14:00~16:00
研修テーマ	看護過程の展開1	看護過程2 看護記録	リーダーシップ	看護研究論文のすすめ方	看護研究論文のまとめ方	アサーティブ
研修のねらい	・看護実践する上で受持患者の情報をアセスメントし看護問題を明確にできる。 ・患者の個性にあった看護を計画・実施・評価できる。	・看護実践する上で受持患者の情報をアセスメントし看護問題を明確にできる。 ・患者の個性にあった看護実践の計画・実施・評価を記録に残すことができる。	・自らが主体的に発信するリーダーシップの自覚を学ぶ。 ・リーダーシップを効果的にするコミュニケーションスキルを知る。	研究計画書、文献検索等論文の構造、構成要素を知り研究活動に応用できる。	研究目的に沿った結論を導くための結果の分析方法を知る。	対人関係におけるアサーティブな表現方法を学ぶ。 患者・家族指導、同僚・他職種とのスムーズな連携に役立つ。
研修方法	講義・GW 看護記録自己評価	講義・GW 事後レポート	講義、GW 事前レポート	講義、GW 事前課題	講義、GW 事前課題	講義、GW 事前レポート
講師等	はくほう会医療専門学校副校長 軸原久美子先生		教育委員 師長	兵庫県立大学 看護学部長 坂下玲子先生		教育委員
研修場所	第2. 3研修室		第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2. 3研修室

対象	ラダーC・D					全体(自主参加可)
研修日時	H30年 10月24 日(水) 14:00~16:00	H30年12月5日(水) 13:30~16:30	H30年 6 月 8日(金) 14:00~16:00	H30年 7月11日(水) 14:00~16:00	H30年 7月25日(水) 14:00~16:00	H30年9月21日(金) 14:00~16:00
研修テーマ	看護倫理	ナラティブ	マネジメント・リーダーシップ 報告会	マネジメント・リーダーシップ のスキルアップ	コーチング	患者の不安に寄り添う看護 ～リハビリ看護の魅力～
研修のねらい	看護倫理の概念を理解し、看護ケアにおける倫理上の諸問題を考え、専門職としての意思決定が行える能力を養う。	自分の体験を語ることで、行った看護を振り返ることができる。 ・語りを聴くことで、自己の看護観を深めることができる。	マネジメント・リーダーシップの報告により、自己の成果、成長を確認する。	職場における自己の役割を認識した行動がとれる。 チームの問題点を明確にし、変化に対して積極的に関ることができる。	コーチングの技術を学ぶ。 コーチングを看護や後輩指導に活かすことができる。	リハビリ看護師の役割を理解し、リハビリ看護について考える機会とする。 障害を持つ患者の不安に寄り添いながら、退院後の生活を共に考えることができる
研修方法	講義、GW 事前レポート	講義、GW 事後レポート	発表	講義、GW 事前後課題	講義、演習 事後レポート	講義・GW 事前レポート事後課題
講師等	兵庫県立こども病院 中谷扶美小児看護専門看護師	神戸常盤大学 教授 畑吉節未先生	H28年度マネジメント・リーダーシップ受講者	教育委員 看護部次長 高濱正子	教育委員	教育委員 看護部長 岸典子
研修場所	第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2. 3研修室	第2・3研修室

対象	全体(自主参加可)			全 体 (看護部師長会)		
研修日時	H30年 11月16日(金) 13:00~16:00	H30年12月19日(水) 14:00~16:00	H31年2月2日(土) 9:00~13:00	H31年2月7日(木) 17:30~19:00	H31年2月21日(木) 17:30~19:00	H31年3月7日(木) 17:30~19:00
研修テーマ	家族看護	退院調整 退院支援	看護実践報告会	出張報告会 急性期病院研修発表会	目標管理成果発表会	看護師長補佐成果発表会 認定看護師活動報告
研修のねらい	家族看護とは何かを理解する 患者を抱える家族の不安を軽減するために必要なことを理解する。	退院調整に必要な知識を習得する。 担当看護師として学んだ知識を活かすことができる。	日常の看護実践を報告し、成果を共有する。 ・EBNIに基づく実践につなげる機会とする。	院外研修で学んだ内容を共有する。 急性期病院研修で得られた成果を発表し、共有する。	各部署が取り組んだ成果を発表し、共有する。	補佐会活動の成果を発表し共有する。 認定看護師活動の成果を発表し共有する。
研修方法	家族看護 講義、GW	講義、GW	発表	発表	発表	発表
講師等	兵庫県立こども病院 浅井桃子家族支援専門看護師	退院調整看護師養成研修会受講者 医療相談室看護師	兵庫県立大学 看護学部部长 坂下玲子先生	院外研修参加者 急性期病院研修参加者	各部署代表	看護師長補佐 認定看護師
研修場所	第2・3研修室	研修ホール	研修ホール	研修ホール	研修ホール	研修ホール

* 外部講師の場合、都合により日時を変更する可能性もあります。